

さいたま市立[]小学校におけるいじめ事案調査報告書に対する保護者所見

さいたま市教育委員会委員長 殿

さいたま市立[]小学校いじめ対策委員会 御中

2025年8月20日(再提出)

保護者 []

さいたま市教育委員会より前回のいじめ事案調査報告書に対し再分析の方向にて、関係各位様による再報告書の書替えが行われた事に付いて深く感謝申し上げます。

さいたま市立[]小学校いじめ対策委員会による調査報告書について、保護者としての所見を述べます。

調査員各位の調査報告書にいじめ事実の多くが意見の相違発生で解明されていない。

(詳細を別紙に記載する)

いじめの問題は公平かつ正確に記されるものではないのか。

(1) 調査報告書には保護者が納得していない事項、事実と異なる事項が含まれている。

(2) 担任の[]教諭に対して保護者として強い憤りを感じている。

(3) 入学時よりコロナ禍で信頼関係を築けていないまま、[]年生頃から、1年以上に渡り、誹謗中傷及び有形力の行使等のいじめ行為を受け続ければ、大きな苦痛と恐怖を感じる事は必然的なことである。(詳細は別紙に記載する)

(4) 教育者及び担任として[]教諭の無責任な発言で児童の心を傷つけた事、助けて貰えない恐怖と絶望。

※教育者としてあってはならないと考える。

発言に対しての答えは[]と同じで、「聞いていない」「覚えがない」「言っていない」等の発言を実際に[]が聞いている。

いじめ事案調査報告書の内容について

(3) 当該児の状況及び欠席期間等について(1/6 ページ)

2024年6月10日(月)今までの経緯を聞いていると、[]

数十分たっても []

[]【乖離とパニック状態】が毎日続き、酷い時は日に2~3回パニック症状で1か月以上不眠状態が続き 叫び、胸が苦しいと泣き昼夜問わず苦しんでいる。

本人を苦痛から救う手段が見つからず ただただ親として、声がけするだけでどうする事もできない状態である。(録画記録あり)

[]の主治医に相談し []の []を紹介され、 []を行い、 []

が、誹謗中傷並び有形力の行使等が一年以上も続き、と診断された。

(4) 2024年6月12日(水) 学校側教頭・担任の 教諭、 の保護者と私・ の計6名で話し合いを行った。

の保護者から運動会当日の行動について説明を受け、 は放送係でA君と共に下校時校門まで行動していた。

抗を抜いた時、自分でぶつけたのではないかと の母親が発言していた。

「A君にも確認したところ校門まで一緒だった」と証言している。

(は全く関係していない) と発言。

これに関しては学校側も同調しているようにも見えた。

※ の保護者が帰宅後、学校側へA君に再度運動会当日の行動確認調査を依頼。

数日後、教頭よりA君の聞き取り報告を受けました。

A君は予定が在るから急いで帰宅したと証言したとの事

A君は1人急いで帰宅している姿を は確認している。 の言っていた通りその事実が証明された

A君はなぜ虚言を言ったのか? そうせざるを得ない状況がA君に起きたのか、知りたいと思う。

(5) さいたま市教育委員会へいじめ事案発生4/6ページの報告をしたと記載がある

教育委員会より何らかの連絡があるのではと待っていました

9月中旬ごろに担任の 教諭が自宅を訪れた際に、「教育委員会から何らかの連絡があったのか」と問いました

担任の 教諭の口から「そっちでなんとかしろ」と言われたと伝えられた。

到底理解できない返答だった。

教育委員会が無責任にも その様な返答をしていたのかと不信感でいっぱいになった。

5 学校の対応

(10) 令和6年7月18日(木) 4/6ページ

当時 学年全生徒にアンケート調査を実施したとあるが、結果として

「いじめの事案は確認できなかった」と報告のみ受けている。

また、アンケートの結果ではなく、トイレという密室での出来事の為、本人の発言を信じる。

6 課題点 5/6ページ

(1) 前年度より との関りへの不安があった事を確認した。とあるが、 年生の頃は新任の教諭だった為か、色々な場面で訴えてもいじめ行為は酷くなり、 が担任教諭に の事を訴える度に嫌な事は増加していった。

理科教室へ移動中、逆走してきた■■■■に溝内（横腹）あたりを殴られ保健室で休んだ事もある。

これは余談であり誰なのかは不明な事柄であり、不可解な出来事もあった。

① 授業中腹痛のためトイレに入り出ようと思った時トイレのドアを誰かが押さえて出られない事もあった。

② ■■年時園工の時間(2H)に、段ボール工作で力作ができたと思い休憩時間トイレに行き、戻って来た時 再起不能なまでに破壊されていた。

担任教諭はクラスメイトが怪我をした為保健室へ行っていて不在でした。

クラスメイトは誰も見ていなかったのか。

関わり合いたくなかったのか、聞いてみたいと思う。

③ 紙粘土工作でゴンぎつねを作成したところ、展示されることになった。

■■年生の終業式に持ち帰ろうと思っていたら壊れていた等、不思議な事が起こることも多々あった。

④ 登校時、上履きが無くなった事が度々遭った。

ゴミ箱の中で発見した事、見つからない事もあった。

■■教諭はこの事項についても、■■の責任で探せと言われたそうです。

問題として取り上げようもしない■■教諭

所見に係る補足説明資料

保護者からの視点では到底納得できない事項

1. ■■年生後半から■■■■が開始していて 何気ないクラスメイトからの振り向き時に■■■■の顔に一瞬見えてきていた。

(ア)■■年生になり、担任の■■教諭に"■■■■"と相談したが、信じてもらえず何度も「本当です」と訴えたが、"うるさい"と発言された。

(イ)■■教諭にその事を確認したところ、そんな事を聞いた事も言った事も無いですね。と発言を聞いた

2. 自分の体調変化に保健室へ相談しに行こうと思ったが、保健室の先生が■■教諭に伝えたら■■■■からどんな仕返しがあるか考えると恐怖心から相談する事は出来なかった。

3. 登校時 教室に入れないう程、足がすくんでいた（行動停止）時クラスメイトからどうしたの 教室入らないのと声をかけられ ハッとして教室に入る事ができた。

4. 保護者が知りえない、日常の学校での姿や人間関係の情報を得たかった。

(ア)狭く閉ざされた環境下でいじめ行為が慢性的に続いていた土壤があった事。

(イ)いじめ行為をクラスメイトが見ていた時は、「遊んでいるだけ。ふざけているだけ」と周囲にアピールして見ていた生徒へ遊びの延長なんだと思わせる行為があったため、アンケートでいじめの認識の低さが現れている結果だと想像できる。

最終的には孤立感を強めていた事

5. 調査結果の矛盾点及び真相不明

① 事案アについて

2024年6月7日(金)休み時間 ■■■■■に聞き取った調査内容には矛盾点が多く真実が見えてない。

2/6ページの調査結果アと3/6ページの(4)ア 事案アについての■■■■■の発言内容が違う

② 事案イについて

■■■■■に絵をかいてあげると、自宅で一生懸命描いて渡しその結果、自分が描いたとクラスメイトに自慢していた。“悔しかった”と話していた。他児童に聞き取りを実施したのか。

③ 事案ウについて

大好きな図工作品の自信作に“キモい”と言われた。
悲しい気持ちで辛かった。

④ 事案エについて

欠席した翌日に新しく購入した服を着て登校したところ“ずる休みして買っただろう”と発言された。

翌日から新しい服は何着あっても着て登校することを拒否している様子があり、その頃から黒っぽい服ばかりを着用している。

⑤ 事案(オ)について

2024年■■月■■日(■■)運動会終了後の片付けの際グラウンドの杭がなかなか抜けず力いっぱい引き抜いたところ、真後ろに居た■■■■■にぶつかった。

■■■■■は“ごめん”と謝罪し、その後も片づけに専念した。

片づけ終了後、教室にタブレットを忘れ 取りに戻った時、■■■■■に「トイレに来い」と呼び出され言う事を聞かないと また怖いのでついて行った。

「さっきぶつかったことを謝れ」と言われ、謝ったと答えたら「聞いていない」と言われ、「謝れ！謝れ！」と数回胸あたりを押された。

その後「そういえば■■年生の時なんでチクったんだ！何故だ！何故だ！」と叫んだり、蹴ったり段々強くなり、肩におもいきりパンチされ倒れた。

(■■年生の時にチクった)とされる出来事をはじめは何の事か理解が追い付かなかった が 思い当たる事は休み時間にクラスメイトと鬼ごっこしていた際、鬼役の■■生徒が追いかけてきたので逃げていた、■■■■■が鬼役の■■生徒の前に足を出し、■■生徒が転倒し怪我をした事を■■年生の

担任教諭に報告した事に対し、恨みを募らせていた事、見た真実を■年時の担任教諭に話した事で恨まれていると感じた。

誰かの足音が聞こえてきた瞬間、■は焦っているように「誰にも言うな！何事もなかった様に出ていけ」と言われ■は恐怖感で慌ててトイレから逃げるように帰った。

自宅に帰っても肩が痛いと言っていたが、なぜ痛いかわからないとごまかした。

数日後、運動会の出来事を話してくれた。痛みが抜けず肩にアザもあり、病院へ連れて行き■

- ◆ ある日の下校支度時、ランドセルを取ろうと思ったが、上手くロッカーから抜けず力いっぱい引いたところ、後ろにいた■にぶつかってしまった。

すぐさま“ごめん”と謝罪したが、無視をされ、もう一度“ごめん”と伝えても無視をされた。

帰りの会が終了した後、■より“さっきぶつかったのになんで謝らないのだ”と発言された。

- “すぐに2回謝ったよ”と言ったら“聞こえなかった。ちゃんと謝れ”と言われたので再度“ごめん”と謝罪したが、“いやだ”と発言され■がホチキスを出してきた。

ホチキスで腕を挟もうとしたので、とっさに肩を殴ってしまった。

急に大声で殴られたことを周りに聞こえるように叫び、クラスメイトは■が殴った事だけ注目した。

翌日、担任の■教諭に■が殴られたと肩を見せていた。

その時に見たアザは数か所あった。■はおかしいと思った。

1 発殴っただけなのに何故あんなにアザがあるのか不思議に思った。

そして担任の■教諭に呼ばれ“なんで、殴ったんだ”と言われたので、“■がホチキスで腕を挟もうとしたからです”と伝え、と、“ホチキスを出していないのに、なぜ殴った”と言われた。

■教諭は見ているのにホチキスを出していないと思ったのか 不思議です。

ホチキスの場面を目撃した人はいなかったのか、■が大声を出した時、クラスメイトが注目した事だけで正当性はない。

「■はどうすればよかったのですか」と■教諭に伝えたところ、“■年生でしょ。そんなこと考えられるでしょ。レベル低すぎでしょ”と言われた。

※すごく悲しかった。すごく恐かった。そして心が痛かった。

調査結果(3) 3/6 ページ同級生から聞き取った内容

イ 見ていた限りでは、いじめではなくじゃれ合いと感じていた……。

とあるが、事実ある時に有形力の行使中 クラスメイトが何かと集まってきた時、

■は「遊んでいるだけ。じゃれていただけ。」と周りのクラスメイトに発言し、クラスメイトは「なんだ～。遊んでいるのか。」と思ったようです。

その後「誰にも言うな」と■に耳元で言われた。

そのことで何かある度「また、じゃれ合っているだけか……。」と誰もが思ったのか？

関わり合いたくなかったのかは、不明であるがそんな事もあり いじめの認識が低かったではないでしょうか。

アンケートには、いじめの認識という事に取違が生じていたのではないだろうか。

ゴールデンウィーク明けから、起床時に■■■■等の症状が現れ始めた。

数日続くので、■■■■の担当医を受診した。

■■■■とは関係がなさそうなので■■■■受診を勧められ、■■■■的にも■■■■によるものと■■■■にて診断された。

本人の心の中で、深く傷つき忘れられない言葉がある。

◆ ■■■■「お前の顔は変だ」(幼少期にできた■■■■の■■■■)

※ ■■■■の顔ってそんなに変?と問いかけてきた。

◆ ■■■■「みんな、■■■■がいるのにお前だけ居ないのは、なんでだ・なんでだ」

※なんで■■■■だけ■■■■がないの?と泣いていた。

◆ ■■■■「お前はこの世の中に生きていく価値のないゴミだ」

※ ■■■■なんか生まれてこなければ良かったと泣く。

辛く苦しく夜は包丁で死んでしまおうと思いつく日もあった。

時には足が痛い、時には頭が痛いという発言があり、足にアザができていたり、頭が2日~3日打撲のように触れると痛かった事もあり、学校でいじめられているのではないかと本人に尋ねると“自分でぶつけた”“頭が痛いのはよくわからない”等とごまかしていた事。

常に誹謗中傷及び有形力の行使に恐怖心から何も言うことができない状態だったと思う。

■■■■と距離を取るため、逃げ回ったり、クラスメイトの陰に隠れたりしたが“なんで無視するんだ”と腕を後ろに回されたりして、痛く、怖かったので■■■■と居るときは友人と常に一緒に居た姿を他の児童は仲良く遊んでいた様に見えていたのだと推測する。

ある日は、公園でswitchを持って集合した、なぜかわからないが友人のswitchを■■■■が投げたので、■■■■が注意したことで、今度は■■■■のswitch(公園のベンチに置いていた)をいきなり投げ水道のコンクリートにあたり画面に亀裂が入った。

■■■■は友人の肩を組み、switchを気にする様な素振りでも■■■■のswitchがコンクリートに当たった場面が見えないように友人の横にいた。

色々な場面において、有形力の行使や誹謗中傷で心身ともに傷つき、現在も担任の■■■■教諭と■■■■に殺される・ホチキスを持って追いかけられるという悪夢を見ては毎夜、恐怖に震える日々を送っている。

特に担任の■■■■教諭の対応が異常で教育者として発する言葉ではないと思われる。

学校の対応等 4/6 ページ (6) 学習プリントや手紙等毎日欠かさず担任が家庭に届けるについて

ポストに投函されており3学期は色々多忙のためか2~3日分まとめ投函されていた
ありがたい事と思いましたが連絡内容は、何て書いてあるのか全く読めない文字で誠意が無い様にも
思えました。

学校に対する不信感ばかり募る。

言いたい事が上手く伝えるのが苦手な子供も多くいると思います。
そんな子供たちには、学校側が何をしてくれるのでしょうか？
言葉に出して上手く伝える事が苦手な子供達にはどう対応して下さるのか。
言葉巧みに伝える子供は有利に思いますが それで結果良しとする事の無い様にならないものか思案
しています。

一生恐怖と戦いながら自立した人生が送れるであろうか、通院の日々はいつ終わるのだろうか。
普通の学校へ通える様になるのだろうか 恐怖心を乗り越え上を向いて歩けるように、これからも傍
に寄り添いながら自尊心を取り戻す事だけが私達家族の希望です。

これからの学校側の対応の在り方、公平な判断を行ってくださいます様 切に願うばかりです。

以上